



WWLカリキュラム開発研究拠点校に指定されました！

長崎東中高は、SGHの後継事業「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」において、文部科学大臣より上記拠点校に指定されました。拠点校は全国で22校（SGH指定校は123校）です。国からの予算措置はありませんが、「世界の平和と共生」に貢献するイノベティブな人材の育成を目指し、すべての生徒を対象に、先鋭的な教育活動を展開します。

拠点校：長崎東中・高

連携校：長崎西、長崎南、大村、佐世保北中・高、諫早高・附属中、対馬、杵岐
広島市立舟入、広島女学院中高、三島北、立命館宇治中高

Taman Tun Aminah（マレーシア）、Visser't Hooft Lyceum（オランダ）

Tamaniwis Secondary School（カナダ）

事業協働・協力機関（予定）

長崎大学、長崎県立大学、長崎純心大学、九州大学、ジャパネットホールディングス、十八銀行、協和機電工業、長崎新聞社、シンガポール国立大学、ライデン大学、ミドルベリー国際大学院、ドイツ国際平和村、国連軍縮部 など

～WWLについて（文科省HPより）～

将来、イノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、テーマ等を通じた高校生国際会議の開催等や高等学校のアドバンスト・ラーニング・ネットワークの形成により、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムにおける拠点校を目指します。



「全国知財創造実践甲子園プレ大会」で優秀賞獲得！

「長崎の音楽を使って、長崎の子供たちに郷土愛を育むには」というテーマで課題研究に取り組んだ高3普通科文系7班（福島誠啓さん・森未来さん・本間千尋さん・中野楓佳さん）が、山口大学主催の標記WEB大会に参加しました。長崎くんちの「しゃぎり」を音楽の授業に取り入れ、伝統音楽を継承するプログラムが高く評価され、参加校で唯一「知財保護賞」（第1位相当）を受賞しました。

～参加者からの評価と感想～

①楽譜に起こしただけでも知財活用として素晴らしいが、笛やカスタネットなど小学生などでも演奏可能な形で実演していく教育プログラムを生み出したところが素晴らしい。この事例は他の地域文化の継承にも応用できる形である。まさに、全国の音楽教材として地域の伝統文化の音源を呼び起こし、教育（地域文化の伝承）として活用できる教材の開発である。



②音楽という才能が要求される世界での取り組み…またその他のチームも様々な分野での研究に取り組まれていることを知り、長崎県教育のレベルの高さを改めて感じる事ができました。